

### 3 校務DX計画

勝浦市は、校務業務について、クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進を図るため、以下の内容に取り組みます。まず、教職員間の情報交換については、クラウドツールの活用を基本とし、令和7年度までに、会議資料のペーパーレス化と正確かつ効率よく伝達できるよう手段の体制構築を支援していきます。また、児童生徒・保護者への連絡については、令和5年度の調査によりクラウドツールの活用が進んでいない学校も複数あるため、先行事例を検証しながら学校への導入を促していきます。すでに取り組んでいる学校については、さらなる取り組みを後押しするため、保護者への調査や問い合わせ等に対応できる体制を構築できるよう様々な事例を教育委員会から発信、支援します。学校間や教育委員会との連絡及び通知は、引き続き、原則メールを基本としつつ、内容によってはクラウドツールを活用しながら情報を共有します。また、業務内容によっては、ファクシミリを活用している現状もあるため、代替手段の検討および令和6年度中の試験的運用を開始し、令和7年度からの運用を目指します。押印については、原則廃止の方向へ進めつつ定期的な見直しを実施します。

次世代の校務支援システムについてはすでに導入しているため、既存システムについて、使用状況等を教職員からヒアリングし、近隣市町村と連携を図りながら次回の更新に向けて、様々な視点から継続した検証を行います。

ICTの活用を通して、校務の効率化を図りつつ検証を行いながら、教職員等の事務負担を軽減して児童・生徒と向き合える働き方を目指して様々な改革に取り組みます。